

メキシコ中央銀行が政策金利を0.25%ポイント引き上げ

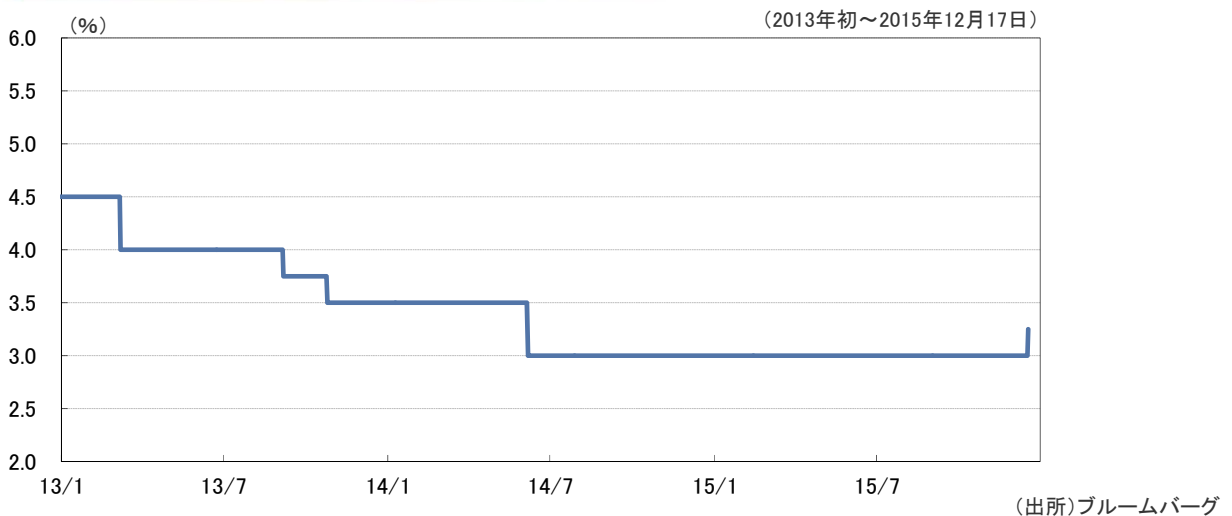
2015年12月18日

<メキシコ中央銀行が政策金利を0.25%ポイント引き上げ>

メキシコ中銀は、定例の金融政策委員会の結果、12月17日（現地、以下同様）、市場予想通り政策金利である銀行間翌日物金利を0.25%ポイント引き上げ、3.25%とすることを発表しました。

政策金利は、2014年6月に0.50%の追加利下げが実施され史上最低の3.00%となった後、1年半にわたり据え置かれてきました。利上げは2008年8月以来となります。

メキシコの政策金利の推移



<利上げは市場の大方の予想通り>

米国の利上げ開始観測や、メキシコの歳入に大きく影響する原油価格の下落を受けて、メキシコ・ペソは対米ドルでリーマンショック後の最安値を更新し、その後も弱含み傾向で推移しています。中央銀行は、ペソ安がインフレに波及することに警戒感を強め、7月には年内の金融政策公表の日程を、全て米国の政策金利決定後の数日以内に変更するなど、通貨安圧力の緩和のために米国の利上げ開始に追随する姿勢を示してきたため、今回の決定は市場の大方の予想通りとなりました。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management

< 今後は米国に必ずしも追随しない可能性も >

インフレ率は緩やかに鈍化を続けており、インフレ目標レンジ(2~4%)内ながら中心の3%を下回って史上最低を更新し、コアインフレも沈静が続いています。原油価格の下落が続いており、製造業はやや低迷するなど、景気回復ペースの高まりの遅れが続いていることから、メキシコ・ペソの対米ドル相場下落が大幅なものとならなければ、今後のメキシコの利上げは必ずしも米国に追随しない可能性がやや高くなっていると思われます。

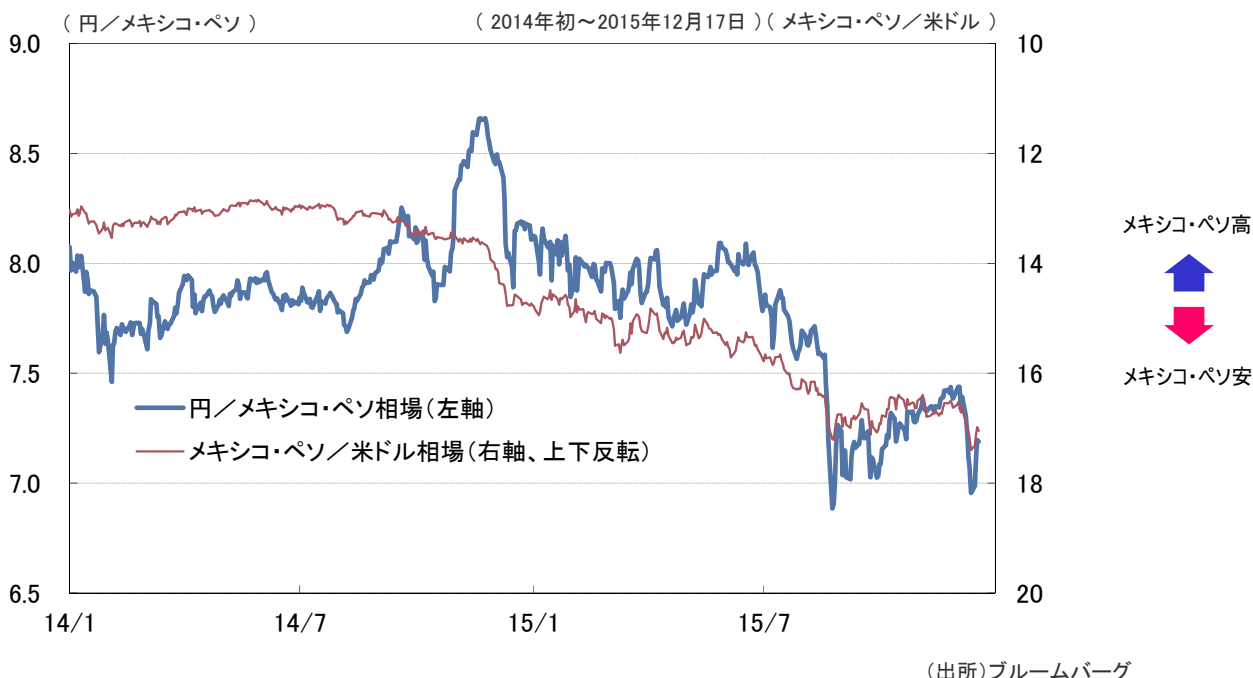
< 新興国の中では比較的に有利な環境 >

メキシコ経済は、内需が堅調さを維持しており、先進国の中では相対的に好景気を享受している米国に対する輸出割合が高く、新興国の中では比較的に有利な状況にあると思われます。また、産油国でありながらも、輸出に占める原油の割合は低く、輸出の主力は製造業が担うなど、新興国の中では特徴的な性質を有しています。

原油価格の下落に伴う歳入の減少に対しても、それに応じた歳出の削減を図るなど、財政の運営姿勢も健全さを維持しています。また、2012年12月に発足した現政権は、エネルギー開発や教育および通信事業の自由化などさまざまな分野で構造改革を進めており、インフレの低下にも表れているように、今後は構造改革の成果が潜在成長率の上昇をもたらすことが期待されます。

今回の中央銀行の政策金利引き上げは、通貨安を通じたインフレ上昇への予防的な措置という位置付けであり、メキシコ・ペソの為替相場の安定感を高めるものとなりそうです。

メキシコ・ペソの推移



以 上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 ： 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会